

# 令和2年度 自己評価結果公表シート 日知屋幼稚園

## 1.幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標

子どもの自立と共生の心を育む

○子どもの自立を促すために

「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

## 2.本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1.遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動をする教育の充実に努める。
- 2.規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実を図る。
- 3.幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。
- 4.安心で安全な幼稚園を保证するための取り組みに努める。
- 5.幼稚園と小学校との連携を推進する
- 6.地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

## 3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1.教育活動の充実	A	子どもたちの発育や成長の様子をとらえながら、制作活動や食育活動を中心に、活動への達成感、周囲への感謝や協力する意欲、姿勢作りを意識して取り組んだ。
2.道徳指導等の充実	A	子どもたち同士で起きている様々なトラブルや困りごとを通し、特に言葉の使い方や伝え方について考えたり、困ったことに対し、自分自身の方法で発信、意思表示することを意識、習慣づけられるような言葉かけなどをした。
3.基本的な生活習慣	A	基本的な生活習慣を理解し、一つひとつ丁寧に行動するよう呼びかけた。食事や睡眠の大切さや、毎日繰り返すことの重要性を伝えてきた。園生活のみならず、家庭やその他の場面でも応用して習慣化、継続していった。
4.安心で安全な幼稚園	A	避難訓練、防犯訓練を月1回実施する中で、日頃の集団生活の姿勢や取り組みの大切さや、いざというときに活かせるための心がけなどを確信した。遊具の使い方や、園での過ごし方などを確認した。また、感染症拡大予防のための取り組みや環境づくりに取り組んだ。
5.小学校との連携	B	今年度については従来通りの交流が実施されなかったが、幼小連絡会等を通し連携を図ることに努めた。特別支援の面も含め、さらに共通理解を図っていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	B	感染対策を考慮した上で、未就園児については、園の行事に招待したり、食育活動を行うなど交流を深めた。

## 4.幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	限られた状況の中で従来通りに近い日々の保育や活動を模索しながら取り組んだ。感染対策等を考慮しながら、異年齢の交流、食育活動の取り組み、制作活動なども充実していた。友だちとの交流を通し、思いやりや言葉の使い方など意識していくよう働

	きかけた。課題点として挙げられた項目の振り返り、検討、実行に努め、より良い安全、安心な園づくりに努めていきたい。
<p>※項目 3.4 の評価結果の表示方法</p> <p>A: 十分達成されている B: 達成されている</p> <p>C: 取り組まれているが成果が十分でない D: 取組が不十分である</p>	
<b>5.今後取り組むべき課題</b>	
課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
1.教育活動の充実	日々の保育活動の評価等を分析し、教育理念の理解、確認と共に、保育や生活に反映できるよう努める。
2.道徳指導等の充実	日頃の気付きや関り、思いやりなどを大切にする心情や行動が反映できるような働きかける。
3.基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の指導の意識を高め、実行できるよう働きかけを工夫する。
4.安心で安全な幼稚園	定期的な安全点検、避難訓練の計画と共に日々の周囲の様子観察を意識し環境づくりに努める。
5.小学校との連携	それぞれの現状を捉えながら、幼保小中の連絡会での共通理解を深めていきたい。
6.豊かな交流体験の充実	園内の園児同士の交流、様々な世代や地域の方々との交流を深めていきたい。
<b>6.特記事項</b>	
学校関係者の評価	特に指摘する事項はなく、妥当であると認められる。